P1

社会保障審議会障害者部会

第89回（H30.3.2）資料6

心身障害者扶養保険事業に関する検討会について

趣旨

○ 国は少なくとも５年ごとに保険料水準等の見直しを行うこととしていることから、平成２９年度において、有識者 や関係者等から構成する「心身障害者扶養保険事業に関する検討会」を設置し、幅広い観点から財務状況等に ついて検討を行った。

心身障害者扶養保険事業に関する検討会報告書（平成２９年１１月６日）概要

○ 心身障害者扶養保険制度の見直しについて 保険料及び年金給付等の水準を維持することが適当。

○ 今後の運営のあり方  心身障害者扶養保険制度の定期的な検証と見直しの実施。  健全な財政状況を確保するため、資産運用について不断の努力を行う。  新規加入の促進に向けて、広報の取組みを一層充実させていくことが重要。 ＜取組例＞ ・ 障害者行政窓口での周知の促進 ・ 障害者やその保護者が利用する様々な制度を活用した広報 ・ 利用者の視点に立った情報発信 等

【心身障害者扶養保険事業に関する検討会構成員】

秋山 勝喜 全国重症心身障害児（者）を守る会副理事長 久保 厚子 全国手をつなぐ育成会連合会会長 小竹 欣男 栃木県保健福祉部次長 座長 駒村 康平 慶応義塾大学経済学部教授 野澤 和弘 毎日新聞論説委員　平松 以津子 静岡市保健福祉長寿局長 村山 令二 健康保険組合連合会参与、公益社団法人日本年金 数理人会副理事長 森 和茂 生命保険協会 理事事務局長 座長代理 米澤 康博 早稲田大学大学院経営管理研究科教授 （５０音順、敬称略）

P2

障害者扶養共済制度の広報の取組について

 国が定める母子健康手帳の任意記載事項様式（※１）を改正し、障害者扶養共済制度について 明記。 ※１ 平成３０年４月１日以降交付予定。あわせて、公益財団法人母子衛生研究会が発行する母子健康手帳の副読本も改正予定。

 障害者扶養共済制度に関するリーフレット（別添１）と、制度の説明を行う方向けの「案内の手 引き」（別添２）を作成し、地方公共団体に通知するとともに、ホームページなど（※２）に掲載。

【リーフレット】

障害者扶養共済制 度に対して国民に親 しみを持っていただ くため、保護者のご 意見を参考に、制度 のメリット等を分かり やすく説明。

【案内の手引き】

地方公共団体の担当者 などが、障害のある方 の保護者等に制度の案 内を行う際に使用できる よう、リーフレットの内容 に沿った案内のポイント を示すとともに、ポイント に対応する詳細な説明 などを盛り込んでいる。

※２ ■ 厚生労働省ホームページ 「ホーム＞政策について＞分野別の政策一覧＞福祉・介護＞障害者福祉＞その他」 ■ 福祉医療機構ホームページ 「ホーム＞コンテンツ＞心身障害者扶養保険事業＞制度のごあんない」 ■ Ｔｗｉｔｔｅｒ ■ Facebook

 今後、広報誌や動画など各種媒体を活用して広報啓発を実施する予定。

パンフレット　略